

評価項目		評価事項	配点	評価基準	適用												
① 企業の施工能力	工事成績	<p>工事成績評定点(3件以内)の評価</p> <p>※阿南市、徳島県及び国の行政機関が定める工事成績評定要領等に基づき通知されたもの。ただし、建築一式工事、電気工事、管工事(電気工事、管工事は建築にかかるものに限る。)は、国の「工事成績評定相互利用対象工事」を含む。</p> <p>※原則、建設工事の種類が同じもの</p> <p>※過去10か年度及び当該年度の入札公告日までに成績通知されたもの</p>	15点	<p>工事成績評価=$\sum [(Yn-65) \times \beta n] \times 15/67.5$</p> <p>評価は整数(小数第1位を四捨五入)<15点を上限とする></p> <p>Yn:工事成績評定点(3件まで申告)</p> <p>βn:請負金額(竣工時)の補正係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・250万円以上の場合:$\beta = 1.5$ ・100万円以上250万円未満の場合:$\beta = 1.2$ ・100万円未満の場合:$\beta = 1.0$ <p>(ただし建築一式工事は250万円を500万円とする)</p> <p>JVの場合は代表構成員のものとする。</p>	○												
	ISO等	ISO(品質管理・環境マネジメントシステム)、エコアクション21の取得状況等	5点	<p>・ISOの取得状況等</p> <table border="1"> <tr> <td>1 ISO9001、ISO14001、エコアクション21のいずれかを取得等</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 ISO9001、ISO14001、エコアクション21のいずれかを取得等	5点	2 上記以外	0点	○								
1 ISO9001、ISO14001、エコアクション21のいずれかを取得等	5点																
2 上記以外	0点																
② 配置予定技術者の施工能力	配置予定技術者の資格	<p>土木施工管理技士等の資格保有状況</p> <p>※対象工事の種類によって、評価の対象保有資格を設定(建築工事の場合、建築施工管理技士等により評価)又技能士等を積極的に活用</p>	5点	<p>・資格保有状況を6段階評価(標準)</p> <table border="1"> <tr> <td>1 技術士(建設部門等)又は1級土木施工管理技士</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 1級土木施工管理技士補</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>3 1級建設機械施工(管理)技士又は2級土木施工管理技士</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>4 1級建設機械施工技士補</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>5 2級建設機械施工(管理)技士</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>6 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 技術士(建設部門等)又は1級土木施工管理技士	5点	2 1級土木施工管理技士補	4点	3 1級建設機械施工(管理)技士又は2級土木施工管理技士	3点	4 1級建設機械施工技士補	2点	5 2級建設機械施工(管理)技士	1点	6 上記以外	0点	○
	1 技術士(建設部門等)又は1級土木施工管理技士	5点															
	2 1級土木施工管理技士補	4点															
3 1級建設機械施工(管理)技士又は2級土木施工管理技士	3点																
4 1級建設機械施工技士補	2点																
5 2級建設機械施工(管理)技士	1点																
6 上記以外	0点																
CPD	<p>継続学習に係る取得単位数により評価</p> <p>※当分の間、土木一式工事、建築一式工事のみ適用</p> <p>※有効期間:過去7か年度及び当該年度の入札公告日まで</p>	5点	<p>・資格保有状況を3段階評価</p> <table border="1"> <tr> <td>1 有効取得単位数が50ユニット以上</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 有効取得単位数が30ユニット以上</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table> <p>※前年度に取得単位数がないものは評価しない。</p>	1 有効取得単位数が50ユニット以上	5点	2 有効取得単位数が30ユニット以上	3点	3 上記以外	0点	△							
1 有効取得単位数が50ユニット以上	5点																
2 有効取得単位数が30ユニット以上	3点																
3 上記以外	0点																
工事成績	<p>現場代理人、主任(監理)技術者としての工事成績評定点(3件以内)の評価</p> <p>※阿南市、徳島県及び国の行政機関が定める工事成績評定要領等に基づき通知されたもの。ただし、建築一式工事、電気工事、管工事(電気工事、管工事は建築にかかるものに限る。)は、国の「工事成績評定相互利用対象工事」を含む。</p> <p>※原則、建設工事の種類が同じもの</p> <p>※過去10か年度及び当該年度の入札公告日までに成績通知されたもの</p>	15点	<p>工事成績評価=$\sum [(Yn-65) \times \beta n] \times 15/67.5$</p> <p>評価は整数(小数第1位を四捨五入)<15点を上限とする></p> <p>Yn:工事成績評定点(3件まで申告)</p> <p>βn:請負金額(竣工時)の補正係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・250万円以上の場合:$\beta = 1.5$ ・100万円以上250万円未満の場合:$\beta = 1.2$ ・100万円未満の場合:$\beta = 1.0$ <p>(ただし建築一式工事は250万円を500万円とする)</p> <p>JVの場合は代表構成員のものとする。</p>	○													
③ 地域貢献度	地域防災力	協定等	<p>阿南市との「大規模災害発生時における支援活動に関する協定」の締結</p> <p>入札公告日までに締結したもの</p>	5点	<p>・阿南市とした「大規模災害発生時における支援活動に関する協定」</p> <table border="1"> <tr> <td>1 協定の締結</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 協定の締結	5点	2 上記以外	0点	△							
		1 協定の締結	5点														
	2 上記以外	0点															
機械保有状況	<p>建設機械の保有状況</p> <p>※土木一式工事、解体工事に適用</p> <p>※バックホウは0.1m³、トラクタショベル0.4m³以上に限る</p> <p>※当分の間、排出ガス対策型の適否は問わない</p> <p>※解体工事では機械の規格を問わないが、バックホウはコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機が取付け可能な機種であること</p>	5点	<p>・建設機械の保有状況を3段階評価</p> <p>土木一式工事</p> <table border="1"> <tr> <td>1 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 バックホウとトラクタショベルをあわせて2台保有</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table> <p>解体工事</p> <table border="1"> <tr> <td>1 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで3組以上保有</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで2組以上保有</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有	5点	2 バックホウとトラクタショベルをあわせて2台保有	3点	3 上記以外	0点	1 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで3組以上保有	5点	2 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで2組以上保有	3点	3 上記以外	0点	△	
1 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有	5点																
2 バックホウとトラクタショベルをあわせて2台保有	3点																
3 上記以外	0点																
1 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで3組以上保有	5点																
2 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで2組以上保有	3点																
3 上記以外	0点																
市内企業活用	市内下請け	<p>市内企業の活用計画</p> <p>※市内企業で施工できない工種を除外することができる</p> <p>※原則、舗装工事等を除く</p>	5点	<p>・市内企業の活動計画を評価</p> <table border="1"> <tr> <td>1 全ての一次下請契約を市内企業と締結する計画を提出又は全て自社施工を行う計画を提出(ただし、〇〇工を除く)</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 全ての一次下請契約を市内企業と締結する計画を提出又は全て自社施工を行う計画を提出(ただし、〇〇工を除く)	5点	2 上記以外	0点	△								
1 全ての一次下請契約を市内企業と締結する計画を提出又は全て自社施工を行う計画を提出(ただし、〇〇工を除く)	5点																
2 上記以外	0点																
④ 地域精通度		<p>主たる営業所の所在</p> <p>※入札に参加する者に必要な資格に応じて適用</p>	15点又は5点	<p>・主たる営業所の所在</p> <table border="1"> <tr> <td>1 阿南市内</td> <td>15点</td> </tr> <tr> <td>2 徳島県内</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 阿南市内	15点	2 徳島県内	5点	3 上記以外	0点	△						
1 阿南市内	15点																
2 徳島県内	5点																
3 上記以外	0点																
⑤ 減点措置		<p>開札日における低入札による減点措置</p> <p>※減点は累積する</p>	累積点	<p>・低入札による得点の減点</p> <table border="1"> <tr> <td>1 低入札による減点</td> <td>-10点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 低入札による減点	-10点	2 上記以外	0点	○								
1 低入札による減点	-10点																
2 上記以外	0点																

評価項目	評価事項	配点	評価基準	適用												
① 簡易な施工計画	工程管理の適切性	1項目×20点	・簡易な施工計画の内容を5段階評価 <table border="1"> <tr> <td>優^(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である</td> <td>20点</td> </tr> <tr> <td>優^(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である</td> <td>15点</td> </tr> <tr> <td>良^(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>良^(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>0点</td> </tr> </table>	優 ^(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である	20点	優 ^(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である	15点	良 ^(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である	10点	良 ^(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である	5点	可	0点	○		
	優 ^(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である			20点												
	優 ^(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である			15点												
	良 ^(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である			10点												
良 ^(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である	5点															
可	0点															
品質・施工の確認方法、管理方法の適切性	品質・施工の確認方法、管理方法について考慮すべき事項等の記述内容															
施工上配慮すべき事項の適切性	施工上配慮すべき事項について考慮すべき事項等の記述内容															
施工上の課題への対応の的確性	施工上の課題への対応について考慮すべき事項等の記述内容															
② 企業の施工能力	同種工事の施工実績	15点	・施工実績の件数を4段階評価 <table border="1"> <tr> <td>1 同種工事の施工実績が○件以上</td> <td>15点</td> </tr> <tr> <td>2 同種工事の施工実績が○件～○件</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>3 同種工事の施工実績が○件～○件</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>4 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 同種工事の施工実績が○件以上	15点	2 同種工事の施工実績が○件～○件	10点	3 同種工事の施工実績が○件～○件	5点	4 上記以外	0点	△				
	1 同種工事の施工実績が○件以上	15点														
	2 同種工事の施工実績が○件～○件	10点														
3 同種工事の施工実績が○件～○件	5点															
4 上記以外	0点															
工事成績	20点又は25点	工事成績評価=Σ[(Yn-65)×βn]×25/112.5 建築一式工事、電気工事又は管工事は25点を20点とする 評価は整数(小数第1位を四捨五入)<25点を上限とする> Yn:工事成績評定点(5件まで申告) βn:請負金額(竣工時)の補正係数 ・25万円以上の場合:β=1.5 ・10万円以上25万円未満の場合:β=1.2 ・10万円未満の場合:β=1.0 (ただし建築一式工事は25万円を50万円とする) JVの場合は代表構成員のものとする。	○													
登録基幹技能者	2点	・登録基幹技能者の活用を評価 <table border="1"> <tr> <td>1 登録基幹技能者の活用</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table> ※1工種1名以上の活用を評価(当該工事に含まれる工種に限る)		1 登録基幹技能者の活用	2点	2 上記以外	0点	△								
1 登録基幹技能者の活用	2点															
2 上記以外	0点															
ISO等	5点	・ISOの取得状況等 <table border="1"> <tr> <td>1 ISO9001、ISO14001、エコアクション21のいずれかを取得等</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 ISO9001、ISO14001、エコアクション21のいずれかを取得等	5点	2 上記以外	0点	○									
1 ISO9001、ISO14001、エコアクション21のいずれかを取得等	5点															
2 上記以外	0点															
③ 配置予定技術者の施工能力	配置予定技術者の資格	5点	・資格保有状況を6段階評価(標準) <table border="1"> <tr> <td>1 技術士(建設部門等)又は1級土木施工管理技士</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 1級土木施工管理技士補</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>3 1級建設機械施工(管理)技士又は2級土木施工管理技士</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>4 1級建設機械施工技士補</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>5 2級建設機械施工(管理)技士</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>6 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 技術士(建設部門等)又は1級土木施工管理技士	5点	2 1級土木施工管理技士補	4点	3 1級建設機械施工(管理)技士又は2級土木施工管理技士	3点	4 1級建設機械施工技士補	2点	5 2級建設機械施工(管理)技士	1点	6 上記以外	0点	○
	1 技術士(建設部門等)又は1級土木施工管理技士	5点														
	2 1級土木施工管理技士補	4点														
	3 1級建設機械施工(管理)技士又は2級土木施工管理技士	3点														
4 1級建設機械施工技士補	2点															
5 2級建設機械施工(管理)技士	1点															
6 上記以外	0点															
CPD	5点	・資格保有状況を3段階評価 <table border="1"> <tr> <td>1 有効取得単位数が50ユニット以上</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 有効取得単位数が30ユニット以上</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table> ※前年度に取得単位数がないものは評価しない。	1 有効取得単位数が50ユニット以上	5点	2 有効取得単位数が30ユニット以上	3点	3 上記以外	0点	△							
1 有効取得単位数が50ユニット以上	5点															
2 有効取得単位数が30ユニット以上	3点															
3 上記以外	0点															
同種工事の施工経験	10点	・施工経験の件数を3段階評価 <table border="1"> <tr> <td>1 同種工事の施工経験が○件以上</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>2 同種工事の施工経験が○件</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 同種工事の施工経験が○件以上	10点	2 同種工事の施工経験が○件	5点	3 上記以外	0点	△							
1 同種工事の施工経験が○件以上	10点															
2 同種工事の施工経験が○件	5点															
3 上記以外	0点															
工事成績	20点又は25点	工事成績評価=Σ[(Yn-65)×βn]×25/67.5 建築一式工事、電気工事又は管工事は25点を20点とする 評価は整数(小数第1位を四捨五入)<25点を上限とする> Yn:工事成績評定点(3件まで申告) βn:請負金額(竣工時)の補正係数 ・25万円以上の場合:β=1.5 ・10万円以上25万円未満の場合:β=1.2 ・10万円未満の場合:β=1.0 (ただし建築一式工事は25万円を50万円とする) JVの場合は代表構成員のものとする。	○													

④ 地域貢献度	地域防災力	協定等	阿南市との「大規模災害発生時における支援活動に関する協定」の締結 入札公告日までに締結したもの	5点	・阿南市とした「大規模災害発生時における支援活動に関する協定」 1 協定の締結 5点 2 上記以外 0点	△
		機械保有状況	建設機械の保有状況 ※土木一式工事、解体工事に適用 ※バックホウは0.1m ³ 、トラクタショベル0.4m ³ 以上に限る ※当分の間、排出ガス対策型の適否は問わない ※解体工事では機械の規格は問わないが、バックホウはコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機が取付け可能な機種であること	5点 又は 7点	・建設機械の保有状況を4(3)段階評価 土木一式工事 1 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有し、そのうち○台が排出ガス対策型バックホウ又はトラクタショベル 7点 2 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有 5点 3 バックホウとトラクタショベルをあわせて2台保有 3点 4 上記以外 0点 解体工事 1 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで3組以上保有 5点 2 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで2組以上保有 3点 3 上記以外 0点	△
	市内企業活用	市内下請け 市内企業の活用計画 ※市内企業で施工できない工種を除外することができる ※原則、舗装工事等を除く	5点	・市内企業の活動計画を評価 1 全ての一次下請契約を市内企業と締結する計画を提出又は全て自社施工を行う計画を提出(ただし、〇〇工を除く) 5点 2 上記以外 0点	△	
⑤ 地域精通度			主たる営業所の所在 ※入札に参加する者に必要な資格に応じて適用	15点 又は 5点	・主たる営業所の所在 1 阿南市内 15点 2 徳島県内 5点 3 上記以外 0点	△
⑥ 減点措置			開札日における低入札による減点措置 ※減点は累積する	累積点	・低入札による得点の減点 1 低入札による減点 -10点 2 上記以外 0点	○

評価項目	評価事項	配点	評価基準	適用	
① 技術提案	総合的なコストの削減	1項目 × 40点	○提案値を求める場合 ・提案値は、提案内容に応じて階層(3段階等)評価や単位値あたりで評価し、1項目あたり0点から20点を与える ・提案値の実現性、有効性を確認するための施工計画は、5段階により評価し、1項目あたり0点から20点を与える 優(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である 20点 優(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である 15点 良(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である 10点 良(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である 5点 可 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切である 0点	○	
	工事目的物の性能・機能の向上		排水性舗装の騒音低減、コンクリートのひび割れ抑制方法、品質・出来形・材料管理の実施方法、コンクリート等の品質向上のための対策等、工事の施工条件や環境条件等から工事ごとに施工上の技術的課題を踏まえて設定		○提案値を求めない場合 ・技術提案と具体的な施工計画の内容を5段階により評価し、各々1項目あたり0点から20点を与える 優(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である 20点 優(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である 15点 良(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である 10点 良(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である 5点 可 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切である 0点
	社会的要請への対応		工事中の騒音・振動・粉塵の低減、工事排水の水質汚濁の抑制、交通規制日数の短縮、特別な安全対策の方法、建設副産物の発生量の削減等、工事の施工条件や環境条件等から工事ごとに施工上の技術的課題を踏まえて設定		○提案値を求めない場合 ・技術提案と具体的な施工計画の内容を5段階により評価し、各々1項目あたり0点から20点を与える 優(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である 20点 優(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である 15点 良(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である 10点 良(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である 5点 可 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切である 0点
② 簡易な施工計画	工程管理の適切性	1項目 × 20点	・簡易な施工計画の内容を5段階評価 優(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である 20点 優(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である 15点 良(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である 10点 良(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である 5点 可 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切である 0点	○	
	品質・施工の確認方法、管理方法の適切性		品質・施工の確認方法、管理方法について考慮すべき事項等の記述内容		・簡易な施工計画の内容を5段階評価 優(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である 20点 優(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である 15点 良(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である 10点 良(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である 5点 可 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切である 0点
	施工上配慮すべき事項の適切性		施工上配慮すべき事項について考慮すべき事項等の記述内容		・簡易な施工計画の内容を5段階評価 優(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である 20点 優(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である 15点 良(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である 10点 良(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である 5点 可 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切である 0点
	施工上の課題への対応の的確性		施工上の課題への対応について考慮すべき事項等の記述内容		・簡易な施工計画の内容を5段階評価 優(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に優れた内容である 20点 優(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、優れた内容である 15点 良(上) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、特に良い内容である 10点 良(下) 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切であり、良い内容である 5点 可 当該工事の工事特性(工事内容、環境条件等)を踏まえて適切である 0点
③ 企業の施工能力	同種工事の施工実績	15点	・施工実績の件数を4段階評価 1 同種工事の施工実績が○件以上 15点 2 同種工事の施工実績が○件～○件 10点 3 同種工事の施工実績が○件～○件 5点 4 上記以外 0点	○	
	工事成績	20点又は25点	工事成績評価=Σ[(Yn-65)×βn]×25/112.5 建築一式工事、電気工事又は管工事は25点を20点とする 評価は整数(小数第1位を四捨五入)〈25点を上限とする〉 Yn:工事成績評定点(5件まで申告) βn:請負金額(竣工時)の補正係数 ・250万円以上の場合:β=1.5 ・100万円以上250万円未満の場合:β=1.2 ・100万円未満の場合:β=1.0 (ただし建築一式工事は250万円を500万円とする) JVの場合は代表構成員のものとする。	○	
	登録基幹技能者	2点	・登録基幹技能者の活用を評価 1 登録基幹技能者の活用 2点 2 上記以外 0点 ※1工種1名以上の活用を評価(当該工事に含まれる工種に限る)	△	
ISO等	ISO(品質管理・環境マネジメントシステム)、エコアクション21の取得状況等	5点	・ISOの取得状況等 1 ISO9001、ISO14001、エコアクション21のいずれかを取得等 5点 2 上記以外 0点	○	

④	配置 予定 技術者 の 施工 能力	CPD	<p>継続学習に係る取得単位数により評価</p> <p>※当分の間、土木一式工事、建築一式工事のみ適用</p> <p>※有効期間：過去7か年度及び当該年度の入札公告日まで</p>	5点	<p>・資格保有状況を3段階評価</p> <table border="1"> <tr> <td>1 有効取得単位数が50ユニット以上</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 有効取得単位数が30ユニット以上</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table> <p>※前年度に取得単位数がないものは評価しない。</p>	1 有効取得単位数が50ユニット以上	5点	2 有効取得単位数が30ユニット以上	3点	3 上記以外	0点	△						
		1 有効取得単位数が50ユニット以上	5点															
		2 有効取得単位数が30ユニット以上	3点															
3 上記以外	0点																	
同種工事の施工経験	<p>現場代理人、主任(監理)技術者としての同種工事の施工経験の件数</p> <p>※標準対象期間：過去15か年度及び当該年度の入札公告日までに竣工したもの</p> <p>※同種工事の内容により、対象期間を増減可能</p>	10点	<p>・施工経験の件数を3段階評価</p> <table border="1"> <tr> <td>1 同種工事の施工経験が○件以上</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>2 同種工事の施工経験が○件</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 同種工事の施工経験が○件以上	10点	2 同種工事の施工経験が○件	5点	3 上記以外	0点	△								
1 同種工事の施工経験が○件以上	10点																	
2 同種工事の施工経験が○件	5点																	
3 上記以外	0点																	
工事成績	<p>現場代理人、主任(監理)技術者としての工事成績評定点(3件以内)の評価</p> <p>※阿南市、徳島県及び国の行政機関が定める工事成績評定要領等に基づき通知されたもの。ただし、建築一式工事、電気工事、管工事(電気工事、管工事は建築にかかるものに限る。)は、国の「工事成績評定相互利用対象工事」を含む。</p> <p>※原則、建設工事の種類が同じもの</p> <p>※過去10か年度及び当該年度の入札公告日までに成績通知されたもの</p>	20点 又は 25点	<p>工事成績評価= $\sum [(Y_n - 65) \times \beta_n] \times 25 / 67.5$</p> <p>建築一式工事、電気工事又は管工事は25点を20点とする</p> <p>評価は整数(小数第1位を四捨五入) < 25点を上限とする ></p> <p>Y_n: 工事成績評定点(3件まで申告)</p> <p>β_n: 請負金額(竣工時)の補正係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25百万円以上の場合: $\beta = 1.5$ ・10百万円以上25百万円未満の場合: $\beta = 1.2$ ・10百万円未満の場合: $\beta = 1.0$ <p>(ただし建築一式工事は25百万円を50百万円とする)</p> <p>JVの場合は代表構成員のものとする。</p>	○														
⑤	地域 貢献 度	協定等	<p>阿南市との「大規模災害発生時における支援活動に関する協定」の締結</p> <p>入札公告日までに締結したもの</p>	5点	<p>・阿南市とした「大規模災害発生時における支援活動に関する協定」</p> <table border="1"> <tr> <td>1 協定の締結</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 協定の締結	5点	2 上記以外	0点	△								
		1 協定の締結	5点															
		2 上記以外	0点															
地域防災力	<p>建設機械の保有状況</p> <p>※土木一式工事、解体工事に適用</p> <p>※バックホウは0.1m³、トラクタショベル0.4m³以上に限る</p> <p>※当分の間、排出ガス対策型の適否は問わない</p> <p>※解体工事では機械の規格を問わないが、バックホウはコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機が取り付け可能な機種であること</p>	5点 又は 7点	<p>・建設機械の保有状況を4(3)段階評価</p> <p>土木一式工事</p> <table border="1"> <tr> <td>1 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有し、そのうち○台が排出ガス対策型バックホウ又はトラクタショベル</td> <td>7点</td> </tr> <tr> <td>2 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>3 バックホウとトラクタショベルをあわせて2台保有</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>4 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table> <p>解体工事</p> <table border="1"> <tr> <td>1 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで3組以上保有</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで2組以上保有</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有し、そのうち○台が排出ガス対策型バックホウ又はトラクタショベル	7点	2 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有	5点	3 バックホウとトラクタショベルをあわせて2台保有	3点	4 上記以外	0点	1 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで3組以上保有	5点	2 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで2組以上保有	3点	3 上記以外	0点	△
1 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有し、そのうち○台が排出ガス対策型バックホウ又はトラクタショベル	7点																	
2 バックホウとトラクタショベルをあわせて3台以上保有	5点																	
3 バックホウとトラクタショベルをあわせて2台保有	3点																	
4 上記以外	0点																	
1 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで3組以上保有	5点																	
2 バックホウとコンクリート圧砕機又は鉄骨切断機の組み合わせで2組以上保有	3点																	
3 上記以外	0点																	
市内企業活用	<p>市内企業の活用計画</p> <p>※市内企業で施工できない工種を除外することができる</p> <p>※原則、舗装工事等を除く</p>	5点	<p>・市内企業の活動計画を評価</p> <table border="1"> <tr> <td>1 全ての一次下請契約を市内企業と締結する計画を提出又は全て自社施工を行う計画を提出(ただし、〇〇工を除く)</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 全ての一次下請契約を市内企業と締結する計画を提出又は全て自社施工を行う計画を提出(ただし、〇〇工を除く)	5点	2 上記以外	0点	△										
1 全ての一次下請契約を市内企業と締結する計画を提出又は全て自社施工を行う計画を提出(ただし、〇〇工を除く)	5点																	
2 上記以外	0点																	
⑥	地域精通度	<p>主たる営業所の所在</p> <p>※入札に参加する者に必要な資格に応じて適用</p>	15点 又は 5点	<p>・主たる営業所の所在</p> <table border="1"> <tr> <td>1 阿南市内</td> <td>15点</td> </tr> <tr> <td>2 徳島県内</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>3 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 阿南市内	15点	2 徳島県内	5点	3 上記以外	0点	△							
1 阿南市内	15点																	
2 徳島県内	5点																	
3 上記以外	0点																	
⑦	減点措置	<p>開札日における低入札による減点措置</p> <p>※減点は累積する</p>	累積点	<p>・低入札による得点の減点</p> <table border="1"> <tr> <td>1 低入札による減点</td> <td>-10点</td> </tr> <tr> <td>2 上記以外</td> <td>0点</td> </tr> </table>	1 低入札による減点	-10点	2 上記以外	0点	○									
1 低入札による減点	-10点																	
2 上記以外	0点																	